

令和4年8月吉日

各 位

短期入所施設桑の里  
施設長 横尾保朋

公益財団法人JKA補助事業を活用した見守りセンサー内蔵介護ベッドの  
導入について（お知らせ）

この度、短期入所施設桑の里では、公益財団法人JKAによる「競輪とオートレースの補助事業」を活用し、見守りセンサー内蔵介護ベッドを下記のとおり導入いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. 補助事業の概要

#### （1）事業の目的

慢性的な介護人材不足の中、介護現場に見守りセンサー内蔵の介護ベッドを導入することで介護職員の負担を軽減し、業務効率を向上させることが目的です。

これまでのベッドは、使用から17年が経つベッドで、マット式センサーを利用者ごとに設置（準備）しなければならないため、身体的負担が大きく、また特に夜間帯の訪室（巡回）は精神的負担もあることから、負担軽減と業務効率を向上（生産性向上）させることが課題となっておりました。

#### （2）実施内容

導入年月 2022年8月

導入場所 短期入所施設桑の里

導入機器 見守りセンサー内蔵介護ベッド一式（35台）

見守りセンサー内蔵介護ベッド一式（35台）  
パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1421H



## 2. 予想される事業実施効果

見守りセンサー付き介護ベッドの導入により、介護職員の負担を軽減し、業務効率を向上（生産性向上）することが期待されます。

また、この機器を導入することにより、慢性的な人員不足の補完と働きやすい職場環境の創造が期待され、これまで以上に質の高いサービス提供を行うことで、利用者様、ご家族、地域の皆様からの期待にも応えていきます。

以上